



多田 勉 議員

一問一答方式

その他の質問

- 遠野市定員管理計画について

広い分野に活かされている市内産材



鱒沢地区センターの整備時期は

市長 地区センター整備に舵切っていく



未だに整備の進まない鱒沢地区センター予定地

問……………
市有林の実態はどのようになっているのか。有利な運用を目指した経営体制を構築すべきでは。

答(市長)……………
遠野市市有林基金条例に基づき、農林課が管理している市有林は1964ha、遠野市以外の所有者の土地に遠野市が立木を育ててきた面積が1037haである。

一方、管財担当が管理する市有林は857haで、大部分は広葉樹

市有林の有利な経営体制を 市長 市有林の管理一元化を進める

又は県行造林、分収林(国有林)。これまで市は積極的に入手を入れてこなかった。市有林の活用メリットが見いだせることから、市有林造成基金の資産として管理を一元化する方向に進めた。

米国の住宅バブル発生で外国産材が入ってこないことから、国産材需要が急激に上昇し、遠野木工団地でも引き合いが強く木材の入手が難しい状況と聞く。

市も広大な森林所有者として、木材を積極的に

的に供給する責務があると考えます。市産木材供給のためには、市有林と木工団地の連携が必須である。

問……………
総事業費約100億円を投入し、延べ10年間に及んだ本計画は令和2年度末で終了したが、観光施設への観光客の入込み目標数10万人に対する実績値の推移は。

答(市長)……………
概ね半数の5万人前後で推移してきた。

問……………
実績値が低調な要因

中心市街地活性化基本計画の 効果は 市長 遠野駅前の環境整備ができた



佐々木 大三郎 議員

一問一答方式

答(市長)……………
東日本大震災による影響と風評被害等によるものであるが、魅力づくりにアプローチできなかった一面もあった。

問……………
空き店舗の現状把握と対応策は。

答(市長)……………
中心市街地活性化協議会で調査方法を確認

した上で、現状把握に速やかに取り組む。

健全財政に向けた 課題解消策は

市長 財政規模に見合った事業計画と建物の有効活用

問……………
「遠野みらい創りカレッジ」の活用状況は、富士ゼロックスの撤退により利用者数が減少傾向にある。また、常駐職員も1名になっている。今後の対応策は。

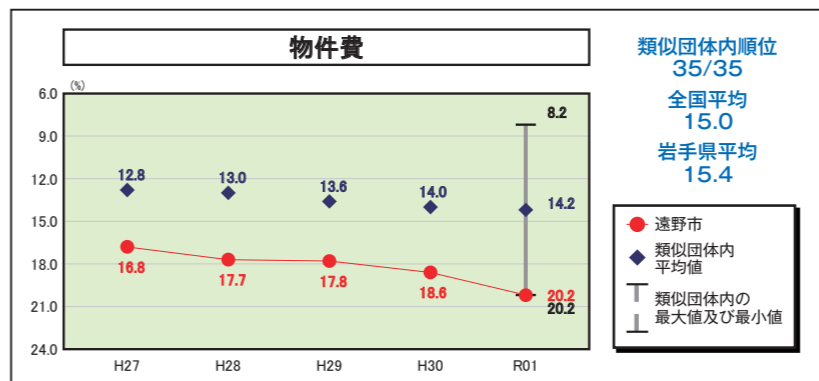
答(市長)……………
「官民連携」まちなか再生事業」が国の採択を受けたことから最適な活用策を見出す。

問……………
物件費(施設に係る維持管理費)の増大が財政を悪化させている。更に「こども本の森」の維持費も加わる。反面、市民サービスに係る事業費が手薄になっていないか。

答(市長)……………
公共施設管理計画に基づき、思い切った廃

問……………
観光の「戦略・情報発信基地」として作った「あすもあ遠野」であるが、1階部分は3年間も使われていない。活用策の検討状況は。

答(市長)……………
「官民連携」まちなか再生事業」が国の採択を受けたことから最適な活用策を見出す。



毎年増加する「物件費に係る経常収支比率」

答(市長)……………
みらい創りカレッジと教育文化振興財団と施設管理サービス、遠野市の4者連携の強みを生かして運営する。また、土淵町は遠野物語の世界であり、小学校の児童が様々な取り組みを行っている例もあることから皆で盛り上げていきたい。